

標 題 『水田を活用した野菜生産のための排水対策に関する研修会』を開催

(ダイジェスト)

8月5日に、JAしまね出雲地区本部東部営農センター及び出雲市平田地域のブロッコリー作付け予定ほ場を会場として標記研修会を開催し、生産者やJA、県関係者ら約60名が出席されました。

研修会では、農機メーカー技術顧問からの講演と、現地ほ場での排水対策実演があり、参加者が排水対策の手法や効果について知見を深めました。

出雲市は、「かあちゃんブロッコリー」として親しまれているブロッコリーや、国指定産地でもある斐川町の玉ねぎやキャベツ、法人による大規模生産が始まっている平田地域の玉ねぎなど水田園芸が盛んな地域であり、県が進める水田を活用した園芸推進をけん引する産地として期待されています。

今回の研修会では、最初に農機メーカー技術顧問から水田転作における排水対策と土づくりについて、全国各地での排水対策の事例を踏まえての講演をいただきました。

講演の後には、実演会の実施ほ場へ移動し、メーカーから排水対策施工するほ場の特性や施工方法、機械の特徴及び留意点について説明され、実演が行われました。

今回は、ほ場の内縁部に排水溝を作る額縁明渠、耕盤を破碎して通気透水孔を作るサブソイラ、全層で耕盤を破碎して透水性・排水性・通気性を改善するパラソイラーの施工実演があり、併せて、排水口の高さや排水路の水位などを事前に確認することや、それぞれのほ場条件にあった施工方法を選択して実施することが重要との説明がありました。

参加者は、施工後の土の状況を確認めたり、積極的に質問するなど、排水対策への知見を深めていました。

今回会場となったほ場では9月にブロッコリーの定植を予定しており、収量や品質などを調査して、今回の排水対策の効果について検証を行うこととしています。



メーカー技術顧問による講演



排水対策実演（パラソイラー）